Ⅰ．平成30年度の取組みの実績

グループ名称	快適・健康・省エネすまいLABO				
H30採択グループ番号	07	―	0355	―	0363

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	H30年度のグループの目的として、①グループ構成員の住宅技術の更なる向上、②お施主様に対する説明技術の向上、の2つを掲げております。①では、定期的に各テーマに沿って勉強会やセミナー参加、住宅見学会での技術講習を行いました。②では、説明資料の準備、対話形式のロールプレイによる説明技術の向上を図り、イベントや見学会でグリーン化事業の説明コーナーにて発信を行いました。

B 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/01	名称	グリーン化事業個別説明			
	内容	以前は集合形式で行っていたが、習熟度にバラツキがあるため、本年度は事務局内にてグリーン化事業の説明員を増員し、経験工務店にも依頼して、個別にグリーン化事業説明を行いました。個別に対面方式で行うことにより、議論が進み、習熟度の向上を実感しました。							
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/11/03	名称	家づくり相談会			●
	内容	各構成員の家づくりを考えている消費者を対象にイベント時に、家づくり相談会を開催しました。特に資金計画段階にある消費者を対象とし、「寒くない」時が流れて快適な家の特長である、ランニングコスト削減による生涯の住宅トータルコストの削減を踏まえた資金計画の説明を行いました。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/11/14	名称	ZEH TERAKOYA	タイプ	実習	●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/11/28	名称	パッシブ勉強会	タイプ	実習	●
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		
	内容	以前は集合形式で設計・申請の説明を行ってきましたが、習熟度にバラツキがあり、本年度は未経験工務店を対象に、個別に事務局が設計・申請のサポートを行いました。社内にグリーン化担当者を任命して頂き、その方に設計・申請のサポートを注力することで、未経験工務店の自社対応のレベルアップができました。		
取組み②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	9	発行予定	6	
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	住宅履歴の図書館 iekachiBOX		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	施工中の万が一の倒産・廃業に備え、完成保証制度の活用を推奨しており、施工構成員がお施主様へ完成保証制度の説明と活用の確認を行いました。 工務店が廃業・倒産した場合、施工構成員の協議の上、事務局がお施主様に対して施工構成員の紹介を行うルールを適用しました。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	グループの構成員に対して省エネ講習会の履修実績を義務付けしている。外皮性能設計の更なる向上に向けて、シミュレーションソフトを斡旋したことで、住宅性能が分かり易くなり、より高性能なサッシ・断熱材を採用することで、住宅の省エネルギー化が図ることができました。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	現在住んでいる家庭のエネルギー排出量が、一般家庭及び1985年の住宅と比較するシミュレーションソフトを導入し、お施主様に住宅の省エネルギーに対する意識付けをイベント等で行いました。	
BELS工務店の登録数	7 社	

Ⅰ．平成31年度の取組みの計画
（1）グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	快適・健康・省エネすまいLABO				
H30採択グループ番号	07	―	0355	―	0363

A 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/22	名称	グリーン化事業説明		
	内容	昨年度に加えて、グループ全体での説明会を開催します。同時に、本年度も個別説明での習熟度向上を図ります。５月１３日のグリーン化事業説明会後、事務局の説明員及び経験工務店に重要事項を説明・確認し、習熟度が低い施工構成員に対して個別に説明を行う予定です。						
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/11/02	名称	家づくり相談会		
	内容	昨年度と同様に、本年度も施工構成員の家づくりを検討されている方を対象に、資金計画を含めた家づくり相談会を開催する予定です。「寒くない」時が流れて快適な家づくりの特長でもある、生涯にかかる光熱費・住宅維持費を削減する家づくりを考慮した資金計画等をする予定です。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/05/28	名称	ZEH TERAKOYA	タイプ	実習
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/05/28	名称	パッシブ勉強会	タイプ	実習
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	本年度も引き続き、事務局内に窓口を設け、設計・申請に関するサポートやサポート機関の斡旋を、未経験工務店が自社対応できることを目的として行います。また、当住宅の説明技術向上のため、必要な場合には説明資料のサポート等を行います。	
取組み②	サポートの有無 2		
	内容		
取組み③	サポートの有無 3		
	内容		

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	住宅履歴の図書館 iekachiBOX

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	施工中の万が一の倒産・廃業に備え、完成保証制度の活用を推奨しており、お施主様へ完成保証制度の説明と活用の確認を行います。 工務店が廃業・倒産した場合、施工構成員の協議の上、事務局がお施主様に対して施工構成員の紹介を行い、住宅の維持・メンテナンスを引き継ぎます。	

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み （新築）	有	
内容	本年度も省エネ講習会未履修の方は、履修を義務とします。外皮計算・一次エネルギー消費量計算により断熱性能・設備機器をお施主様と比較・検討し、予算にもよりますが、さらなる高性能化を図り、住宅の省エネルギー化を促進します。また、高効率設備機器のみに頼るのではなく、日射取得・日射遮蔽・通風・自然光利用等を活用した家づくりの勉強会を行います。	
省エネ化に対する取組み （改修）	有	
内容	イベント等で省エネ改修コーナーを創設する。家庭の省エネに関するクイズや、現在住んでいる家庭のエネルギー排出量が、一般家庭及び1985年の住宅と比較するシミュレーションソフトにより、お施主様の住宅に対する省エネ意識（家庭の経済的な側面・気候変動等の環境面について）を向上し、省エネ改修の必要性を訴求します。	

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/07/24	
内容	省エネ改修型に関する内容が公開された後、率先して取り組む事業者を対象に研修会を実施します。特に、省エネ改修を行う家全体あるいは部屋において、窓改修・天井、壁、床改修・換気設置・高効率機器の導入にテーマを絞り、お客様に効果が分かり易くなるよう、研修を行います。			
研修計画 ②		実施日		
内容				

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（2）地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	快適・健康・省エネすまいLABO				
H30採択グループ番号	07	―	0355	―	0363

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	私たちが目指すのは、この寒冷な地域に根ざした施工構成員を中心に「寒くない」時が流れて快適な家を提供して頂くことです。名称の由来は、優良な地域材に囲まれた高性能で冬暖かく夏の日射にも考慮した住宅を、一時的な性能ではなく、多くのお施主様が人生の大半を過ごすであろう長い期間を考慮した住宅を計画して頂くことを目的としています。グループ構成員の良い点を共有し取り入れ、グループ全体での知識・技術のボトムアップを図ると同時に、地域に身近な工務店が、将来にわたって省エネ性・耐震性・メンテナンスにすぐれた長期優良住宅・高度省エネ型住宅を普及して参ります。	

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		

①-2 地域材の使用部位			② 地域材の利用に関する補足説明
主要構造材	土台	有	特にありません。
	柱	有	
	梁・桁等の横架材等	有	
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無	
造作材	枠材、廻縁等	無	
板材	壁板、床板等	無	

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	事務局と施工構成員が協力して、早期に住宅計画と地域材の使用量を把握し取りまとめ、必要量を確保し、必要に応じては事務局にて一括購買を行い在庫することで、円滑な地域材の供給に努めます。	
② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	消費者の選定がある程度必要ない高効率機器（給湯器等）については、グループ内である程度仕様を取りまとめ、一括購買を行い、事務局にて在庫することにより、コスト削減を図ります。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	事務局と施工構成員が協力して、早期に住宅計画と地域材の使用量を把握し取りまとめ、必要量を確保し、必要に応じては事務局にて一括購買を行い在庫することで、円滑な地域材の供給に努めます。事務局にて在庫情報を管理し、必要であれば即時在庫情報を公開します。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	断熱材・気流止め等の施工は、省エネ講習会において受けた講習を遵守します。また換気計画と気密性能を考慮し、漏気が予測される箇所には対処を行います。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	長期維持保全計画に基づき、1年・3年・5年・10年それ以降は5年ごとに点検を行います。	
⑥ 施工検査（瑕疵担保責任保険の検査以外）	有	
内容	自社責任で施工中・引き渡し時に中間検査・最終検査は全社行っています。構造見学会・完成見学会等ににグループ構成員が参加した場合は、目視による施工検査やアドバイス、注意を協力することで、品質の向上に努めます。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	標準見積書の雛形を配布し、参考にすることで、見積書の未記載やミス、一括見積等の項目を無くすように努めます。また、補助金申請等に係る経費についても雛形を配布し、必要経費の確保に努めます。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特にありません。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	現状、日曜日のみの休日が多いとの報告があります。まず第1段階として隔週2日の休みの導入を図ります。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	事務局で助成金や補助金を紹介し、資格や技能取得を促進するとともに、取得後の手当等も施工構成員に考慮頂きます。
③ 社会保険への加入	有	内容	現状、長野県建設国民健康保険組合の加入者が多いので、協力して加入を促進します。見積書に法定福利費を記載し、法定福利費の適切な確保に努めます。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	現場の安全衛生に関する資料をグループ構成員に配布・確認します。

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（3）地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	快適・健康・省エネすまいLABO				
H30採択グループ番号	07	―	0355	―	0363

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	和室を1部屋でも多く採用して頂けるように積極的に推奨していきます。
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	有	内容	和室を採用して頂く際は、ふすま・障子を積極的に斡旋します。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	伝統的に、赤松や唐松の丸太梁・太鼓梁を、お客様が見えるように現して梁組を行う住宅が多い地域です。お施主様に推奨し1本でも多く採用して頂くことで、伝統的なデザインを継承します。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	伝統的に、赤松や唐松の丸太梁・太鼓梁を、お客様が見えるように現して梁組を行う住宅が多いです。お施主様に推奨し1本でも多く採用して頂くことで、伝統的なデザインを継承します。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	イベント・見学会・内覧会開催時に、暖房の使用方法・使用時間、換気の方法、日射取得・遮蔽の方法等、寒冷地に合わせた住まい方をお施主様に推奨します。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	伝統的に和瓦・白い漆喰等を外壁に使用している家屋が多い地域もあります。そのような地域に建設する場合、外観の配色等、街並みを損なわないようにします。

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

当該エリアの原木供給構成員の木材を積極的に活用します。また、震災・豪雨に被災された方々の住宅に関する経験をグループで勉強させて頂き、住宅のさらなるレジリエンス向上を図ります。

②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

グループ内で「災害対策の手引き」を配布・確認し、万が一災害等が発生した際の有事に備えます。